立教大學新聞

発行所
豊島区西池袋3丁目
立教大学新聞学会
振替 東京 70852
電話983-0111(代)内線688
発行人 小川岩雄
責任者 商井正義
毎月15日発行

死の国の世代へ

—闘争開始宣言—

どんな遠くの気配からも暁はやってきた
まだ眼をさまさない人よりもはやく
孤独なあおじろい未来にあいさつする
約束ににた瞬間がある
世界はいつもそのようにわたしにやってきたか
よろこびは汚辱のかたちで悪寒をおぼえ
吐きだす澱のように
希望はよれよれの雲
足げにされてはみだした綿のように
けれどわたしのメモワール　わたしのたたかい
それは十年の歳月をたえてやってきた
わたしの同志にわたしの憎悪をはげますように
こころが温もったときたたかわねばならぬ
こころが冷えたとき遇いにゆかねばならぬ

十年の廃墟を搾ってたてられたビルディングの
街をすてて
まだ戦禍と死者の匂のただよう死の国の
メトロポールへ
暁ごとに雲母のようにひかる硝子戸を
拭いている死の国の街へ
戦禍によってひき離され　戦禍によって
死ななかったもののうち
わたしたちがきみたちに知らせる傷口が
なにを意味するのか
平和のしたでも血がながされ
死者はいまも声なき声をあげて消える
かってたれからも保護されずに生きてきた
きみたちとわたしが
ちがった暁ちがった空に約束してはならぬ

吉本　隆明「異端と正系」より

〈主な内容〉
二面 ◎"羽田"から"佐世保"へ
◎金恐慌と米帝の苦悩
三面 ◎映評「召使」「薮の中の黒猫」
四面 ◎ジェイムズ・ジョイスの世界

早稲田学院
早慶合格第一位校☆全国理工系抜群
新宿区高田馬場駅際 駅一分ホーム中央
電話(983)9281(代) 白亜7階

新入生号
歓迎

現代法律学全集
★実定法を中心とした国民生活を守る全集★
全30巻

22 民事訴訟法
北海道大学教授 司法試験考査委員 小山 昇 著
A5判 総クロス 上製 六〇〇頁 定価一,五〇〇円
特価一,三〇〇円 (六月末日迄 第一回配本に限る)
第一回配本 好評発売中
内容見本呈送

1 法律学概論 石井良助 茂木敬三 福田平 東京大教授 渡辺洋三 定価一,〇〇〇円
2 憲法 中大教授 橋本公亘 定価一,〇〇〇円
3 行政法総論 北大教授 今村成和 定価一,〇〇〇円
4 行政法各論 神戸大教授 山田幸男 定価一,〇〇〇円
5 民法総則 東北大教授 幾代通 定価一,〇〇〇円
6 物権法 東北大教授 広中俊雄 定価一,〇〇〇円
7 担保物権法 北大教授 川井健 定価一,〇〇〇円
8 債権総論 京大教授 林良平 定価一,〇〇〇円
9 契約法 名大教授 三宅正男 定価一,〇〇〇円
10 事務管理・不当利得・不法行為 立教大教授 四宮和夫 定価一,〇〇〇円
11 親族法 北大教授 山畠正男 定価一,〇〇〇円
12 相続法 東大教授 加藤一郎 定価一,〇〇〇円
13 不動産登記法 学習院大教授 遠藤浩 定価一,〇〇〇円
14 借地法 東北大教授 鈴木禄弥 定価一,〇〇〇円
15 借家法 立教大教授 水本浩 定価一,〇〇〇円
16 商法総則 東北大教授 服部栄三 定価一,〇〇〇円
17 商取引法 成蹊大教授 谷川久 定価一,〇〇〇円
18 会社法 名大教授 北沢正啓 定価一,〇〇〇円
19 保険法 名大助教授 古瀬村邦夫 定価一,〇〇〇円
20 海商法 京大教授 川又良也 定価一,〇〇〇円
21 手形法・小切手法 京大教授 鴻常夫 定価一,〇〇〇円
22 民事訴訟法 北大教授 小山昇 定価一,〇〇〇円
23 強制執行法 阪大教授 中野貞一郎 定価一,〇〇〇円
24 破産法 神戸大教授 山木戸克己 定価一,〇〇〇円
25 刑法総論 東北大教授 荘子邦雄 定価一,〇〇〇円
26 刑法各論(上巻) 立教大教授 大塚仁 定価一,〇〇〇円
27 刑法各論(下巻) 立教大教授 大塚仁 定価三,五〇〇円
28 刑事訴訟法 大阪市大教授 高田卓爾 定価二,七〇〇円
29 労働法(I) 一橋大教授 菊沢謙一 定価三,〇〇〇円
30 労働法(II) 成蹊大教授 麻田清彦 瀬元美知男 定価三,〇〇〇円
〈主要教材〉
大河内一男 経済学講義 九〇〇円
中山伊知郎 近代経済学講義 九〇〇円
大河内一男 経済学入門 七〇〇円
福田・大塚 刑法総論講義 九〇〇円
福田・大塚 刑法各論講義 九〇〇円
塩田良平 文学入門 六〇〇円
東京都文京区西片1の3の17
振替東京16920 電話(811)0977
青林書院新社
■各巻とも、頁数約 500／予価 1,500円前後
■☆印は毎月順次刊行／以下、毎月および隔月刊行

弘文堂 法律学講座
新版 会社法 昭和四十二年までの法律改正に基づく最新の解説書! 鈴木竹雄著 ¥七八〇
新版 行政法(全訂版)(上) 田中二郎著 ¥八八〇
新版 行政法(全訂版)(下) 田中二郎著 ¥八八〇
最高権威者による待望の全面的な加筆訂正版!
新版 商法総則(補正版) 石井照久 ¥四八〇
新版 手形切手法 石井照久 ¥四八〇
新版 商行為法・海商法 鈴木竹雄 ¥八〇
新版 物権法・担保物権法 吾妻光俊 ¥五〇
新版 債権法 吾妻光俊 ¥四〇
新版 強制執行法・破産法 兼子一 ¥七八〇
新版 労働法 碧海純一 ¥一〇〇
新版 法哲学概論 碧海純一 ¥一〇〇
民法総則 石井照久 ¥四八〇
民事訴訟法(上・下) 菊井維大 ¥一〇〇
国際法概論(上・下) 高野雄一 ¥七八〇
国際私法(改訂版) 江川英文 ¥八〇
刑法 団藤重光 ¥八〇
刑事訴訟法 平野龍一 ¥四〇
憲法 芦部信喜 ¥三〇
親族法・相続法 鍛冶千晴 ¥一〇〇
東京神田駿河台 弘文堂新社

木村 相良 独和辞典 新訂
東京大学名誉教授 相良守峯編 ¥一一〇〇〈上装〉 ¥一七〇〇〈総革〉 〒¥九〇
一五万語の豊富な語いは、日常語、専門語、学術用語、外来語、俗語、方言や複合語も多数とり入れ、熟語文例も最大限採録した。また発音はアクセントと長音符のほか、音標文字を添えて、地方により発音の異なるもの、名詞変化によるアクセントの移動も完璧である。語原究明は、まず原意の語を示し、外来語にはその語の系統を明示し、訳語の前には同意語や反対語をあげたいわゆる双解辞書の方法で訳語の意味を懇実にしている。文法上の機能は初心者にも理解できるよう、とくに留意して解説してある。整理分類も使用頻度の高い概念から訳語を列挙するなど使用上の能率を考え、初心者にも完全なドイツ語をマスターできるよう、使用者本位をモットに編集されている
大独和辞典 ¥三五〇〇　和独大辞典 ¥五〇〇　ドイツ語学概論 ¥二〇〇
博友社
東京都新宿区揚場町九

大学入学者のほとんどが英英辞典を持っている!
全国書店に常備有
初心者でも使用ができる本格的な英英辞典!
The Advanced Learner's Dictionary of Current English
現代英英辞典 (略称 ALD)
ビニール装 ¥一〇五〇・総革装 ¥一四〇〇・机上版 ¥一八〇〇
全国一流学校の推奨辞典 Idiomatic and Syntactic English Dictionary 「新英英大辞典」(縮刷版)¥850)と同じ編者であるA.S.ホーンビーほか2先生が帰英後、その後の多年を費して、こんど新編集した最新の英英辞典。新語や米語もゆたかに採録し、語彙の新しい意味や、新しい表現の使い方などは適例をそえて親切に解説してある。
待望の机上版が復刊!
新英英大辞典 【机上版】
13×19cm判一五四八頁 特価¥一三〇〇(定価¥一五〇〇)
語学図書出版 視聴覚諸教材 開拓社 東京神田神保町2 電話 265-7641

福井芳男著 フランス語で話しましょう
新書判220頁 ¥480 〒50
テープ／5号ダブル ¥1,500
松原秀治 松原秀一著 仏作文の考え方 B6判四〇〇頁 〒¥七五〇 九〇
藤田五郎著 藤田ドイツ語入門 B6判四〇〇頁 〒¥七五〇 九〇
森川ドイツ語入門 森川晃卿著 ¥四〇 〒七五
ドイツ広文典 桜井和市著 ¥五〇 〒八〇
初歩からの教養ドイツ語 阿部貞隆著 ¥六〇 〒七五
フランス語の基礎 家島光一郎 ¥三〇 〒八〇
フランス文法入門 大井征著 ¥四〇 〒七五
英語からフランス語へ 川本茂雄著 ¥三〇 〒八〇
新入生におくる雑誌 初級ドイツ語 ¥180 〒12
4月入門指導特集号① 発売中
的確な指導! 多彩な内容!
年極予約者に録音テープを進呈
東京・神田猿楽町2の6 第三書房 振替東京 133990

例年定評ある一ツ橋書店版就職シリーズ
法学部 就職準備事典 就職試験に関する豊富な資料・法律問題に対する徹底解説。 定価三五〇円
経・商学部 就職準備事典 就職試験に関する豊富な資料・経済問題に対する徹底解説。 定価三五〇円
法学部 就職試験 法学部生対象の最新問題と全詳解。就職状況案内付。 定価三六〇円
経・商学部 就職試験 経・商学部生対象の最新問題と全詳解。就職状況案内付。 定価三六〇円
理工学部 就職試験 理工学部生対象の精選問題と全詳解。就職状況案内付。 定価三六〇円
試験職 専門用語解説 最近五年間に出題された法律経済用語に懇切な解説を付す。 定価三六〇円
上級 公務員試験 受験要領および多数の演習問題を掲げ、対策を示唆す。 定価三六〇円
上級技術 公務員試験 受験要領および最新の教養試験、専門試験問題を収録。 定価三〇〇円
中級 公務員試験 豊富な資料・斬新な構成・多数の問題で受験に即応。 定価二五〇円
作文・論文の基礎 就職受験に、また文章を基礎から勉強したい方のための書。 定価三〇〇円
試験職 論文対策 出題された課題に模範作例を付し、対策を示唆す。 定価二五〇円
試験職 論述対策 論述問題を体系的に分類整理し、模範解答を施す。 定価二七〇円
試験職 外国語問題集 英文和訳を主とした三年間の外国語問題を全詳解。 定価三〇〇円
就職受験英語の研究 各問題毎に解説、注釈、訳文を付した実力養成の書。 定価三五〇円
就職受験常識 時事用語、教養問題、重要事項を徹底分析し、解説す。 定価二七〇円
受験時事新語 マスコミで繁用される時事用語を分類解説す。 定価三〇〇円
マスコミへの道 マスコミ受験者のための懇切な指導と最新問題例。 定価四三〇円
教員採用試験 教員採用試験制度の解説と全国の過去三カ年試験問題例。 定価五五〇円
東京都文京区 水道2-10-12 電話東京(943)4241(代)

仏和辞典の最高峰——最高スタッフによる最も権威ある仏和辞典!
スタンダード佛和辞典
鈴木信太郎・中平 解・渡辺一夫・朝倉季雄・家島光一郎・武者小路実光 三宅徳嘉・松下和則・田島 宏 共著
鈴木信太郎博士をはじめ斯界の権威者が総力を結集し，企画編集に10年の歳月を要して完成した近代辞典。収録語数7万。最新の権威ある英・仏辞典を参照し新語新語義を最大限に収め，発音はP.Fouchéの理論により現代フランスの標準発音を表記した。
■中型ポケット判／デラクール装函入・1300円／革装函入・1600円
●初めてフランス語を学ぶ人に最適
スタンダード仏和小辞典
本書は初学の人のために，またフランス語に接する多くの人々が楽な気持で日常使用できるよう，好評を博した「スタンダード仏和辞典」を特別に編集し，$\frac{1}{3}$の量に縮小したものである。縮小にあたっては安易な改訂によらず，見出し語・語義・用例等十分な検討を加えた。
■ポケット判／ビニール装函入／500円
マンション
現代フランス文法
田辺貞之助 著
古典的名著 A grammar of Present-day French の翻訳書で，英語からフランス語への入門書としては最適のものであり，既習者にも必読の書としておすすめしたい。版を重ねるに当り旧版に徹底的な修正を行なった。
■A5判／上製／1000円
大修館書店
東京・神田錦町3—26
振替／東京40504

論説

大学の危機情況を打破せよ

全学の新入生諸君！諸君は今、希望に胸をおどらせて大学の門をくぐって来た。諸君は「大学とは何か」と問いかけ、何らかの形で、その答えを導きだして大学へ来たことと思う。そして、おそらく諸君の大部分は、「大学とは真理を追求する場」、「より深く学問を探求する場」と考えて関門をくぐり抜けて来たことであろう。しかし、その「真理追求」、「学問探求」の場が、現在どのようにゆがめられ、抑圧され、破壊されつつあるか諸君は、ある程度知っていることと思う。われわれの先駆を担った幾多の学生は数多の大学破壊策動と闘ってきた。文部次官通牒、レッド・パージ、大管法等々の大学自治の破壊、策略と闘う中で、われわれの先人達は大学の自治をかちとってきた。そうした闘いを経ることによって、われわれは真に学生が闘わない限り、大学は権力に屈服してしまうことを教訓として学んだ。お題目を観念的に唱えるだけの「闘争」は常に敗北してきたのだ。だが今や、権力はますます闘う学生に対する弾圧を強化してきている。市権力者のコネによる不正入学阻止の闘いに立ち上がった高崎経済大学の火は度重なる権力の弾圧により消えかからんとしている。そしてまた、各私大で帝国主義的な教育の改編とともなって企てられた学費の値上げに抗して闘ってきた学生は処分され、大学を守ろうとする者は常に権力によって弾圧されつづけてきたのだ。

われわれは、この一年間、学費の値上げ阻止、学生会館・学生寮等の自治権拡大の闘争、そして砂川、二度にわたる羽田、佐世保、王子、成田と幾多の反戦闘争を闘ってきた。その中の幾つかは勝利し、幾つかは敗北を喫した。それらの日本の学生・人民の切実な闘いに対し、権力は刑事弾圧形で参加した学生に弾圧を加えてきている。それにもかかわらず、われわれ戦闘的学生の運動は停滞するどころか、ますます拡大し、労働者・農民の闘いを一層強力に支援している。そして、それを反映して、佐世保には「佐世保市民の会」が池袋には「池袋西口市民の会」が、王子には「王子野戦病院設置反対北区民の会」が生まれ、「野戦病院設置反対する会」、「野戦病院設置闘争は広く市民の間に浸透していったから、「○○市民の会」等の運動は単発的な「戦争はいけない」という感情論に終始しているものであり、その決定的な欠陥は問題点を欠いていることであるのだ。われわれの任務は、そうした非階級的な闘いを批判しながらわれわれの本質へ向けた闘いを貫徹してゆくことなのだ。

今、われわれ学生にかけられている数々の抑圧すなわち私大協、国大協文書の学生運動そのものへの規制見解で述べているような、運動そのものの外に、大学自体が危機に陥っているということが重要な問題となっている。それは、○○大資官僚制、大学設置基準法、教免法の改悪という形でわれわれの目の前に現象し、それと共に、体制の要求するような知的労働者を大量に作る形で大学での教育がわい曲されている。すなわち、「売れる」学部・学科の新・増設、それにともなうマス・プロ化という状況が進行しつつあり、教育の質は大幅に低下している。もっとも、教育の質の低下ということが主要な問題としてあるのではなく、そのことは、われわれ学生の主体的な努力ということにより、若干は解決される問題である。つまり、最も主要な点は、大学の教育自体が体制のイデオロギーの攻勢の前に、その道具に還元されてしまっていることであり、大学の危機の最大のものがまさにそれなのである。

そうした危機状況のもとで、われわれ学生にかけられた任務は大きい。新入生諸君、今こそ権力に抗して立ち上がろう、大学を守る闘いに、反戦の闘いに、諸君の戦場は何も教室ばかりではないのだ。そして、われわれの人間的な叫びを世界中にたたきまさせるのだ。われわれは、いつでも諸君と共に闘おう。

羽田から佐世保へ（下）

「羽田から佐世保へ」の軌跡は今や成田、王子へと描かれた。その軌跡の中に「七〇年安保闘争」の原型が萌芽的ではあれ、示されていることを我々は見ることができる。羽田佐世保闘争を転機とした学生運動の転換が、現在の階級的流動化といった内実に対して、階級闘争総体における運動論的な関連を前提とした長期的な戦略プログラムといった形で打ち固められる必要にせまられているのではなかろうか。前号において羽田、佐世保闘争をめぐる情勢、とりわけ日米会談を転機とする日米同盟の反革命的強化と再編成をテコとした日本ブルジョアジーの動向といったものを明らかにして来た。今回は先提に起した問題を軸としつつ、ブルジョアジャーナリズムによって華やかにまつり上げられ、その実隠蔽あるいはスリかえられようとしている佐世保闘争の本質論的な評価をやって行くとともに、「七〇年安保」へ向けた我々の闘いの前進のため、向を克服して行かねばならないのかを明らかにして行きた。

羽田闘争で「ゲバ棒」が機動隊に向けられた時、支配者は文字通り戦慄した。そして以降支配者階級は、ブルジョアジャーナリズムの「学生暴徒」キャンペーンを背景として、弾圧体制を強化して行った。

（Ⅰ）

佐世保闘争における弾圧体制は「未曾有」のものであった。政府支配者階級にとって、社共が「エンプラ闘争」をいわゆる「反戦・反核」闘争としての国民運動的カンパニアとして対応している状況の中にあっては、学生の実力阻止闘争をいかに圧殺するかが主要な鍵であった。

エンタープライズ寄港の数週間前から彼らの攻撃は開始された。長崎大における見せしめ処分、日本育英会を通じての羽田闘争参加学生に対する奨学金打ち切り等による不当なドゥカソが行なわれ、一方における「暴力学生」キャンペーンは華ばなしく展開されたのである。

一月一五日早朝には法政大から佐世保へ向う学生に対する戦前の予防検束を思わせる百数十名の学生の事前大量検挙。一六日博多駅に到着した学生に対する「身体検査」を名目とした不当弾圧といった極めて強権的な形で、佐世保へ学生が着く以前に徹底した弾圧を加えようとしたのである。

一七日の平瀬橋はどうであったのだろうか。

いうまでもなく「権力」のあらざまな姿をそこに見たのである。催涙弾、催涙液（毒ガス）放水、警棒、シナイ警棒、特殊警棒（ナチスが使ったという）による乱打「暴行」、そして大量検挙と。

平瀬橋における学生と機動隊との対決といった情景は、現在的な状況の深部に脈動している「非和解性」といったものを、「デーゼ」に対する「アンチテーゼ」と瞬間の中で「頂点」に達すると同時に、新たな論理の過程に「下向」せざるを得なかった。

「暴力」を媒介とした自己存在への問いかけ――現象した「非日常性」の中への、赤裸々な自己の写し出しと、「時代性」の「非日常性」の中への還元が同時併行的な形でなされていったのである。

「羽田、そして「佐世保」における「ヘルメット」と「角材」の闘いが、単に支配者階級の弾圧体制の「高度化」に対応した形で生み出されたとする評価は果して正しいのだろうか。

（Ⅱ）

たしかにある一部の学者センセイが「ブルジョア法理論」をもって政府支配者階級の不当性をナジリ、学生の行為は「やむをえない」ものだと「弁護」されることは、決して意味のないものだと言うつもりはない。

しかし、そうした評価というものは、決して昨年の羽田闘争の意過程における国家の幻想共同体性としての「存在」の復権をはらみつつ、噴発していたのではなかろうか。

「警備車」に乗った「佐世保署長」の「警告」と、「角材」を林立させた学生の集団、そして「バリケード」をこわしにかかる先頭の学生達。

学生は「警告」に対して「角材」を対置させた。

それは諸「個」人の自らの赤裸々な存在への追求といったものが、幻想共同体的な論理の中にくりこまれて行く中で「日常性」といった形で終焉させられている現在的な時代性を「非日常性」の名においてあからさまにしていたのではあるまいか。

確かに「異常」でもった。しかしその異常さは続く「出撃されたのだ。

二度の羽田闘争において、「権力」は、学生集団の「日常性」を突破した行動そのものが、不可避的にその立脚する深化された「支配」と「被支配」といった、支配者が不断に隠蔽して来たその内実を露呈させることを、学生集団の存在を「暴力」一般の中へ解消し論理をさか立ちにさせることにより、すなわち「暴力学生集団」として描くことによって、彼らの「日常性」をとりもどしたのである。

「佐世保」はこうした支配者階級の「操作」故をもって、いとも簡単に学生の闘いを圧殺できるはずであった。しかしながら学生の死力をつくした闘いに対応したところの支配者階級の強権的な弾圧は、彼らの「操作」をもホゴにしてしまう一つの「ファクター」として現出してしまうというジレンマ的な状況を「佐世保」に作り出してしまったのである。

「羽田」における「ヘルメット」と「角材」の闘いが、単に支配者階級の弾圧体制の「高度化」に対応した形で生み出されたとする評価は果して正しいのだろうか。

（Ⅲ）

しかしながら「羽田」「佐世保」といった闘いを通じて貫徹された学生の「ラジカル」な闘いが「佐世保」において「偶然」にも「市民」と直線的に結びついた「佐世保」における「市民」集団の依拠している基盤そのものが問われなくてはならないということをぬき去ってしまっているからである。

問題なのは自らの存在が「労働者」としての存在である諸個人が、いわゆる「市民」という名において状況の真只中に復権しようとしていることなのである。

「市民」といった存在が、「階級」としての連帯の基盤が失なわれ、孤立分散させられた形で「資本」の下にその分業体系にくみ込まれた諸個人の姿としてあり、またその「市民」の立脚する地点というものが、「投票権」とささやかな「私有財産」といった論理を越え得ないという状況をみるならその限界性は明らかなのである。

では何故に「市民」は「学生」に「共感」を持ち得たのであろうか。

それは決して「市民」のもつ論理の「日常性」という「ワク」を越え出るものではなかった。彼らの「日常性」の最下部に、危機意識が内在化していたのではなかろうか。それはあの「佐世保橋」「平瀬橋」における異常な「激突」の中に突鋭化された形で浮し出されたのである。

「日常性」に立脚するものと「非日常性」に立脚するものとが「佐世保」の地に「共存」したおり、そしてそれはあたかも「一体化」したようにみえた。

しかしながらその内実において学生の「孤立」した「ラジカル」な闘いが「羽田」を上まわる形でなされていたにすぎないのである。

「市民」集団の登場は、裏返していうならば、「安保」以降の階級闘争の低迷を意味している。

「安保」以降、日本帝国主義の確立への局面と、それに伴なう社会総体における改編の進行、それらを許したということは同時に階級闘争の「体制内化」の過程の進行をも意味していたのである。

その中で「労働者」は「階級」としての「政治的表現」の場を当然にも失なわれてしまった。

以降「非政治的季節」の中で労働者は「投票権」と、ささやかな「私有財産」をもつ「主人公」としてまつり上げられ、その「日常性」の世界に住みついてしまったのである。

しかしながら現在のドル・ポンド危機とベトナム侵略戦争に象徴されることく、情勢そのものの転換と、それに伴なう国内体制の急速な改編攻勢の進行といった状況は、その「日常性」の世界そのものの中にくい込みつつあるのである。

こうした危機意識が大衆それ自身の中に内在化しつつある状況は同時に階級闘争が「奇形化」されている状況にあって、いわゆる「安保」以降、日本帝国主義の確立への局面と、それに伴なう社会総体における改編の進行、それらを許したということは同時に階級闘争の「体制内化」の過程の進行をも意味していたのである。

その中で「労働者」は「階級」としての「政治的表現」の場を当然にも失なわれてしまった。

以降「非政治的季節」の中で労働者は「投票権」と、ささやかな「私有財産」をもつ「主人公」としてまつり上げられ、その「日常性」の世界に住みついてしまったのである。

しかしながら現在のドル・ポンド危機とベトナム侵略戦争に象徴されることく、情勢そのものの転換と、それに伴なう国内体制の急速な改編攻勢の進行といった状況は、その「日常性」の世界そのものの中にくい込みつつあるのである。

こうした危機意識が大衆それ自身の中に内在化しつつある状況は同時に階級闘争が「奇形化」されている状況にあって、いわゆる「第三潮流」的な形をもった運動の登場可能な場としてあるのである。

いわゆる「市民集団」の登場や公明、民社の「佐世保」での抗議行動はそのようなものとして位置づけられるのである。

先にのべたように、日本帝国主義の急速な改編攻勢は、社会深部から新たな胎動を生み出しつつある。「日韓」を転機とする情勢の転換は実力闘争を階級闘争の軸として登場させた。「羽田闘争」はその象徴的なものとしてあったのである。

（Ⅳ）

ドル・ポンド危機に象徴される戦後世界支配体制の崩壊と新たな体制への再編は、その支配圏分割をめぐる帝国主義列強間の抗争の激化をもたらしており、又それに対して後進国人民の解放闘争は決定的に対決している。

こうした状況のただ中に置かれている日本帝国主義は、それ自身のもう手痛をさらに拡大している。

政府支配者階級にとって、「日韓」を契機としてアジア侵略を開始し、その支配圏分割戦に介入している現在、国内における政治軍事体制の改編はさしせまった課題としてあるのである。

現在、日本ブルジョアジーの攻勢が非妥協的な形で「国家権力」のあらゆる手段を行使してなされるといった形に転換していることを見なくてはならないし、いわゆる「議会」をテコとした、「国民運動」的対応は、無力と化していることを認識する必要があるのではなかろうか。

「羽田闘争」は、労働貴族に組合指導部を「占拠」され、資本家の合理化攻撃・収奪といった状況の下に置かれている「下部労働者」による大きな力を与えた。

それは下部労働者、青年労働者を中心とした戦闘的労働運動の形成、そして政治闘争部隊としての反戦青年委員会の隊列の強化、拡大として結果したのであった。

羽田闘争、そして佐世保闘争はその徹底した実力闘争の中に、現在の階級対立の矣鋭さとその非和解性をますますうきぼりにしたのである。

ことに加えて、金の生産が現行1オンス＝35ドルの金価格が維持されるかぎり、近い将来に減少することが見通され、金の投機取引きが急増したことが今回の金騒慌である。

EEC諸国、日本等の帝国主義的復活自立は世界市場再分割戦に乗り出している。経済的利害関係は政治、軍事の総体として後進国市場の争奪戦を展開するが後進国における解放闘争は

学生は「羽田」では孤立していたが「佐世保」では孤立しなかったという論議がなされている。佐世保においては確かに学生の戦いの後にそれをつつむようにして「労働者」の隊列と「市民」の群れが存在していた。

の否定と新たな共同性の構築、その実現過程における「公的暴力」の粉砕、その環としての自らの「武装」の追求、がせまられてくるのである。

エンタープライズ寄港阻止闘争は佐世保現地における実力闘争と連帯した形において、首都における米大使館、首相官邸、外務省に対する反米帝、反日帝の闘争を中心とした全国での闘争がとりくまれたという点において羽田闘争にみられる現地闘争一本ヤリといった限界を克服したものとして評価できる。

（Ⅴ）

それは「プチブル急進主義者」のいう「佐世保を第三の羽田に」といった悪しき「先駆性論」の代表版ともいえる運動の破産をも意味しているのである。

また同様に佐世保において社共の運動はみじめな破産をみせた。

社会党、総評はいわゆる「闘う」ポーズを示しつつも、その内実において官僚的しめつけと、大衆操作をもって闘いを「エンプラ抗議」運動として、「佐藤内閣」に対する「プレッシャー」におし込めようとした。

しかしながらそれは反戦青年委員会、社青同、日中（正統）等の青年労働者の闘いによってのりこえられてしまい、「佐世保橋」において全学連とこれらの闘う労働者との連帯した闘いが展開されたのである。

一方、日共・民青は「戦争」に対する不安と「民主主義」の危機を「第三潮流」的な形をもった運動の登場や公明、民社の「佐世保」での抗議行動はそのようなものとして位置づけられるのである。

（Ⅴ）

それは「プチブル急進主義者」のいう「佐世保を第三の羽田に」といった悪しき「先駆性論」の代表版ともいえる運動の破産をも意味しているのである。

また同様に佐世保において社共の運動はみじめな破産をみせた。

社会党、総評はいわゆる「闘う」ポーズを示しつつも、その内実において官僚的しめつけと、大衆操作をもって闘いを「エンプラ抗議」運動として、「佐藤内閣」に対する「プレッシャー」におし込めようとした。

しかしながらそれは反戦青年委員会、社青同、日中（正統）等の青年労働者の闘いによってのりこえられてしまい、「佐世保橋」において全学連とこれらの闘う労働者との連帯した闘いが展開されたのである。

一方、日共・民青は「戦争」に対する不安と「民主主義」の危機をテオる中で自らの「労勢拡大」へとエンター闘争を展開した。

そして闘う部分に対しては、「社共」統一集会からのしめ出し等の策動をもって、自らの日程見性を隠蔽しようとしたのである。

それはあの一八日の「五万人集会」において「ヘルメット」と、「角材」を「権力」に向けてでなく闘う労働者・学生に向けたことになったのである。

しかしながらそれは彼らの「味方」であるべき青年労働者に「武装」解除され、又二一日には「市民」に「角材」を取り上げられるといった極めて破廉恥な「姿」をさらけ出したのである。

羽田闘争、佐世保闘争を闘う中から全学連、反戦青年委員会の戦闘化と連帯が克ちとられてきた。

今やも七〇年へ向けての戦う連帯とりわけ全学連と反戦青年委員会との共同闘争を軸とした統一戦線の確立をせまられているのではないだろうか。

現在の階級的流動化状況に対して「第三潮流」の部分に対する闘争の共同化をテコとしつつ、「羽田」・「佐世保」と克ちとられた実力闘争の大衆化をさらに推進して行くことによって、統一戦線の強化、拡大をはかって行かねばならない。

エンター闘争における職場・学園における「全国ネスト」の不発を克服し、現地闘争と首都を中心とする闘争の結合をさらに強化発展させること、学園、職場における諸闘争を通じての政治闘争部隊の形成、これらのことが「七〇年」へ向けての課題としてあるのではなかろうか。

ICA英会話
TEL.984―2476～7
★1クラス10名以下
★外人講師による個人的レスン
いつからでも始められます
◎外人講師の参加するESSもあります
★英文タイプコース
入会随時・個人指導
池袋駅西口正面第2三笠ビル
ICA国際会話学院
院長　法博　山崎晴一

焦点

金恐慌と米帝の苦悩

戦後二〇余年、ドル中心の国際通貨体制は、EEC諸国、日本等の急速な高度成長によるアメリカの相対的地位の低下をもたらし、ドル・ポンド危機の深化、民地市場をEEC諸国、日本等の急速な経済成長はアメリカの世界人民の闘いはアメリカの植民地市場をせばめ、世界に流出したドルはアメリカの豊富な金の流出による資本収支の赤字の増大は国際収支の赤字化傾向として現われた。

アメリカの慢性的な国際収支の赤字・ドル危機はフランスを中心とする西欧諸国において、ドルの過大評価・IMF体制を占拠し、又前者と後者の「弁証法的」な有機的運動の結合、そが反戦闘争、階級闘争の前進をかちとる主要な課題となりうるのである。

国家権力対する実力闘争の展開、その過程における国家権力の「暴力性」の認識の実体化、その過程における国家の幻想共同体性がらも城外国には封鎖的排他的である。このようにして六〇年を中心とした時期にアメリカは西欧、日本の帝国主義的復活自立による国際競争の激化の結果、かつての巨大な「対外援助」を可能にした莫大な貿易収支の黒字幅の減少に加えて、後進国における解放闘争を抑圧するための軍事費の増大高利潤を求める民間資本のEEC、後進国への流出による資本収支の赤字の増大は国際収支の赤字化傾向として現われた。

アメリカの慢性的な国際収支の赤字・ドル危機はフランスを中心とする西欧諸国において、ドルの過大評価・IMF体制を占拠し、又前者と後者の「弁証法的」な有機的運動の結合、そが反戦闘争、階級闘争の前進をかちとる主要な課題となりうるのである。

国家権力対する実力闘争の展開、その過程における国家権力の「暴力性」の認識の実体化、その過程における国家の幻想共同体性ベトナムにみられるように前進している。米帝の植民地市場獲得のベトナム侵略戦争はアメリカ担資本の要請にもかかわらず西欧、日本の帝国主義的再編に加えて解放闘争の前進による民間資本のEEC、後進国への流出による資本収支の赤字の増大は国際収支の赤字化傾向として現われた。

アメリカの慢性的な国際収支の赤字・ドル危機はフランスを中心とする西欧諸国において、ドルの過大評価・IMF体制を占拠し、又前者と後者の「弁証法的」な有機的運動の結合、そが反戦闘争、階級闘争の前進をかちとる主要な課題となりうるのである。

国家権力対する実力闘争の展開、その過程における国家権力の「暴力性」の認識の実体化、その過程における国家の幻想共同体性ベトナムにみられるように前進している。米帝の植民地市場獲得のベトナム侵略戦争はアメリカ担資本の要請にもかかわらず西欧、日本の帝国主義的再編に加えて解放闘争の前進による民間資本のEEC、後進国への流出による資本収支の赤字の増大は国際収支の赤字化傾向として現われた。

アメリカの慢性的な国際収支の赤字・ドル危機はフランスを中心とする西欧諸国において、ドルの過大評価・IMF体制を占拠し、又前者と後者の「弁証法的」な有機的運動の結合、そが反戦闘争、階級闘争の前進をかちとる主要な課題となりうるのである。

国家権力対する実力闘争の展開、その過程における国家権力の「暴力性」の認識の実体化、その過程における国家の幻想共同体性

●混迷する現代に英知の水脈をひらく
三省堂新書
■絶讃発売中〈各三五〇円〉むのたけじ＝詩集たいまつ／人間に関する断章604／家永三郎＝一歴史学者の歩み／教科書裁判に幸るまで／内村剛介＝生き急ぐ／スターリン獄の日本人／グローターズ・柴田武＝誤訳・ほんやく文化論／真壁仁＝人間茂吉上＝農民の心と詩人の魂／人間茂吉下＝愛と別離／山田宗睦＝でもす・くらちあ＝戦後民主主義の復権／小野健一＝時間・空間・物質＝物理への道／樺島忠夫＝文章工学＝表現の科学／安田武＝学徒出陣＝されど山河に生命あり／白鳥邦夫＝ある海軍生徒の青春＝敗戦・愛・恩想／吉田金彦＝ことばのカルテ＝ふだん使い言語／日高六郎・上山春平、作田啓一ほか＝シンポジウム現代日本の思想＝戦争と日本人／福田政義＝源氏物語の舞台裏＝王朝の世界／結城よしを＝月と兵隊と童謡＝若き詩人の選挙／瀬谷喜雄＝六・三校長どろんこ記＝新教育の原点に立って／大門一樹＝物価抵抗史＝立ちあがる消費者／長谷川四郎＝シベリア再発見＝開かれる自然と詩／池田よしなえ編＝ベトナム民話＝民族の英雄と添と知恵／草野正名＝子どもを伸ばす読書＝幼児から小学生まで
■四月二〇日新発売！　木下順二・白高六郎・田港朝昭ほか＝シンポジウム沖縄＝引き裂かれた民族の課題／大江芳夫＝近代日本とアジア／むのたけじ・岡村昭彦＝1969年＝歩み出すための素材
■三省堂　■東京千代田区神田神保町一ノ一　■最新大学目録＝送堂

外国語学習には定評ある三省堂版を！
●第二外国語のマスターのために〈わかる語学シリーズ〉を！
常木　実著　わかるドイツ語　〈基礎編〉三八〇円　〈実力編〉三八〇円
家島光一郎・羅生和夫著　わかるフランス語　〈基礎編〉三八〇円　〈実力編〉三八〇円
井桁貞敏著　わかるロシア語　〈基礎編〉三三〇円　〈実力編〉三三〇円
長谷川　寛著　わかる中国語　〈基礎編〉四〇〇円　〈実力編〉四〇〇円
■〈基礎編〉は力ナ発音を採用し、文例と文法を結びつけ、辞書の使い方などの親切な解説とともに、多くの練習問題・まとめなどで能率的に学習できるよう配慮。〈実力編〉は読本。
■〈基礎編〉は発音得を付した文例と文法を結びつけ、精密な調査にもとづいた日常語いを設定し、発音・動詞変化を効果的に身につけられるよう配慮。〈実力編〉は名作を収録。
〈基礎編〉は初心者のために豊富な図解とロシア語特有の表現法を活用度の高い文例で示すことによって、ロシア語の基礎の深い理解をはかった。〈実力編〉は実力養成の読本。
■〈基礎編〉は簡体字と拼音字母を全面的に採用し、ことばの使い方と文例を見開きに収録。さらに初心者のために録音テープを別途発売。〈実力編〉は興味深い内容の読みもの。
三省堂独和新辞典
コンサイス
独和辞典
和独辞典
仏和辞典
露和辞典
和露辞典
■倉石五郎編・国松孝二編修協力・一二五二ページ・七五〇円・革装一〇〇〇円　■新時代に即応した小型独和の最高峰・収録語数八万。新鮮な訳語、豊富な用例、工夫な発音、明快な文法と機能の解説、新表記法による格の支配関係の提示等の特色は入門者必携の辞書。
■国松孝二ほか編・二四七二ページ・二二〇〇円　■現代ドイツ語を豊富に収録、用例とともにニュアンスの差異にまでおよんで生きたドイツ語で訳しかけ、表現の多様性を図っており、大学のドイツ語学習に最適。
■丸山順太郎・川本茂雄編・一三三ページ・八〇〇円・革装一〇〇〇円　■収録語数六万五千、新語・派生語の豊富さは抜群。訳語は語義ごとに用例・熟語を示し、発音表記特に意を用いた。初級者のために基本語に頻度記号をつけ、動詞変化表は独得の工夫をこらしている。
■井桁貞敏編・一三三八ページ・一〇〇〇円　■収録語数・文法変化、新語などの豊富さにおいて世界屈指のロシア語辞典。見出しは五万八千語、変化形・派生語を含めると十万を越し、熟語・用例ともに数万。増補により、自然科学用語・社会科学用語などを大幅に拡充。
■井桁貞敏編・八八〇ページ・二二〇〇円　■ロシア語界の空白を埋めた最新和露。現代生活に必要なあらゆる図解を収録。ひきやすいかな見出しを採用し、語義を平易に分類して、新鮮・的確な訳語をつけた。文法・語法上の注意は実用面を考慮して徹底。
■篠田英雄・国松孝二監修・三省堂編修所編・クラウン判・二三四四ページ・一〇〇〇円　■七千年にわたる独和辞典編修の伝統が生み出した画期的な独和。収録語数実に十四万二千。地名・人名・歴史上の事件などの固有名詞や人文科学・社会科学の語いを意欲的に収録。
新クラウン英語熟語辞典
カレッジクラウン英和辞典
縮刷版
●新発売！
■英語・英文学を研究するためのすべての条件をそなえた本格的な大型英和――新学期からの英語学習には、辞書づくり87年の伝統の結晶〈カレッジクラウン〉を机上に一冊！
■五万の熟語を収録し、そのすべてに用例をつけて〝英語熟語の生態〟を余すところなくとらえ示した画期的な熟語辞典／活用辞典、語法辞典、諺辞典、イディオム辞典としてきわめて利用範囲は広く、大学生に好評！
大塚高信編／クラウン判・一四一六ページ・九五〇円　■英語を外国語として学ぶ場から、種々の文献・辞典などから約五万の熟語を収録。／各熟語には一義一例を原則として典拠ある用例と日本語訳を付した。／COD第5版、ウェブスター第3版などを参照して最新の熟語を収載。／反意句・同意句・類句をあげ、特に異形はすべて並記。／各熟語は主要語のもとにアルファベット順にまとめ、前後参照を徹底し、使いやすい工夫がしてある。
大塚高信・吉川美夫・河村重治郎編／二一六〇ページ・縮刷版（B6変型判）一五〇〇円／大型版（A5変型判）二二〇〇円・背革装二八〇〇円　■適切な語いの選択（九万）、最新の語いを収録。／精選された活用度の高い用例を最大限に収録、英作文辞典としても役立つ／詳細で的確な語法、文法、類語解説。／みやすい語義分類、熟語配列。／同意語・反意語を随所に示して双解式。／百科事典的解説を充実し、鮮明なカット豊富。／適切な語源の指示。
三省堂新書
三〇〇冊プレゼント
■みずから学び、みずから考えようとする若い世代の圧倒的な支持を得ている〈三省堂新書〉を抽せんで三〇〇冊贈呈します。
▼応募の方法＝官製ハガキに①住所②氏名③在籍大学名④上記のうちの希望の新書名（一冊）を記入のうえ、三省堂宣伝課〈新書プレゼント係〉宛お送りください。
▼締切＝昭和43年5月20日消印まで。
▼発表＝三省堂新書の発送をもってかえさせていただきます。

映評

「召使」

ジョセフ・ロージー監督

「召使」の逆転

召使と主人の立場の逆転が映画の殆んどを費やして描かれ、その「不道徳的」で巧妙な仕掛が、ジョセフ・ロージー特有のあのデフォルメされた世界で語られる。ロンドンの高級住宅地に居を構える貴族出身の裕福な青年トニーを「一九世紀の遺物としての」主人と言えるなら、残忍な意図を持って若い主人の弱さを食いものにして痛烈な破滅へと引きづっていく召使パレットは「未来から来た」召使ということになろうが、ジョセフ・ロージーはあくまでそれを「一九世紀」を「知っていた」召使と「知らなかった」主人ということのメタモルフォーゼとして描きはじめる。

「……リアリティに接近する唯一の方法は、ものごとを破壊し、根にそぎ取りのそぎ、粉砕してしまい、その上で、あなたの望むリアリティのシムボルをえらび出して、シーンを復元し、それらのシムボルが、高められた方法で、はっきりと単純に、あなたの望むその通りのことを意味しているようにすることだ。これはセットについても、大道具小道具についてもカメラ・アングルについても、そして特に演技について、言えることだ……」というロージーは、その言葉どおり種々なモンタージュで彼の思想を表現する。

紹介されてやって来てなれた感じで家の中を極めて趣味よく整えているパレットが壁紙の色のことなどでトニーと衝突する時、パレットは慎重に召使を演じながら巧知に召使からの逃亡のための伏線を引くことが、リアルな演技の平面を超えたパレットのしぐさで描かれる。デフォルメされたアクションの中から、リアリズムを拒絶した点でリアリズムを超りこえて新たなリアリズムを形成する。また、ロージーは鏡を多用することにより主人と召使の位置の変化を小きさみに描きだす。鏡の中に映るトニーとパレットの影は、しだいにトニーが小さくなりパレットが大きくなる。そして、その幾何学的関係が、トニーの家の中における二人の社会的位置関係のデフォルメとなり、トニーが女を抱きしめながらその肩ごしに鏡の中に見たパレットの姿が、トニー自身の姿と取って変わろうとしていることを示す。

飛び出して行ったパレットがトニーの要請で再びトニーの家に戻ると、主人と召使の立場は全く逆転し、トニーはパレットの召使としての立場にのめり込んで行く。トニーとパレットは二人しかいない家の中で終りのないようなボールのぶつけ合いを演じ、パレットの姿を取って変わろうとしていることを示す。

にそれを自由に始め、自由に終えることを許すようなトニーだったジョセフ・ロージーは、しかし、最後の場面で肉欲と背徳の海を泳ぎまわるトニーとパレットを描きながら、彼の「図式」の方法がその出発点から内包していた矛盾を無際限な許容状況で逆立ちさせることによって、主人と召使の立場の逆転という「図式」を包含しつくすことが出来なくなり、主人召使の存在自体がそれぞれの存在を媒介としてしか、即ち自立性の欠如への補充物同士としてしか存在できないという「図式」へと「昇華」させてしまった。それは意味を変えれば、存在の、または階級の二元的分解の「図式」への「昇華」ともいえるだろう。そして、ロージーが描き出したあまりとろなく否定的な状況の全てがパラドクサルに人間の根源的な狂気」――ファウストのそれのような――という一点に集約していく。この映画は恐怖と同時に愛の暖かさを持っているはずである。優雅の内には不潔さがあり、又醜さの内には矛盾せぬ美が…」といったロージーの言葉はそのことを端的に語っている。召使と主人の間に必然的に発生する階級対立を、召使と主人との主体にそれぞれ「内在」している「主人・召使」の要素に融合された「小宇宙」の隙間の彼方に押しやってしまったロージーは、（前に述べた）「図式」の「昇華」というよりは、「図式」の「溶解」をもたらしたと言えよう。召使の中にある「主人」と、主人の中にある「召使」を想起し、召使と主人のそれぞれ相互に「階級」を基底から侵蝕し合うという「図式」を描いている。女と酒をもとめて泥沼の中を手探りで動き廻るトニーと、トニーのファンセを抱きしめながらトニーが女を抱き

「溶解」に陥没

このようにフィルムにイメージ自体を定着させることにより映像の真只中に「図式」を構築して来たジョセフ・ロージーは、しかし、最後の場面で肉欲と背徳の海を泳ぎまわるトニーとパレットを描きながら、彼の「図式」の方法がその出発点から内包していた矛盾を無際限な許容状況で逆立ちさせることによって、主人と召使の立場の逆転という「図式」を包含しつくすことが出来なくなり、主人召使の存在自体がそれぞれの存在を媒介としてしか、即ち自立性の欠如への補充物同士としてしか存在できないという「図式」へと「昇華」させてしまった。それは意味を変えれば、存在の、または階級の二元的分解の「図式」への「昇華」ともいえるだろう。そして、ロージーが描き出したあまりとろなく否定的な状況の全てがパラドクサルに人間の根源的な狂気」――ファウストのそれのような――という一点に集約していく。この映画は恐怖と同時に愛の暖かさを持っているはずである。優雅の内には不潔さがあり、又醜さの内には矛盾せぬ美が…」といったロージーの言葉はそのことを端的に語っている。召使と主人の間に必然的に発生する階級対立を、召使と主人との主体にそれぞれ「内在」している「主人・召使」の要素に融合された「小宇宙」の隙間の彼方に押しやってしまったロージーは、（前に述べた）「図式」の「昇華」というよりは、「図式」の「溶解」をもたらしたと言えよう。召使の中にある「主人」と、主人の中にある「召使」を想起し、召使と主人のそれぞれ相互に「階級」を基底から侵蝕し合うという「図式」を描いている。女と酒をもとめて泥沼の中を手探りで動き廻るトニーと、トニーのファンセを抱きしめながらトニーが女を抱き

しかし、どうやら長田弘が「権力に対するとこまでも徹底してデスペレートな闘い」といったオクターブの高い発声をする時、それは、輝ける父性の獅子の知き映像と対極にある――西欧的家庭生活を卑小感にさいなまれながらも営む善良で小心で、それ故にまた己が心情を裏切れないボール・ニザンの文学青年像に収斂していくようです。これは何も否定的見解ではありません。

今日、思考停止の一変種である青春エネルギズム――為せば成る式の松下幸之助的神話――が蔓延して関根栄といった大道香具師が「革命はもともと減るもんじゃない、するかしないかは決意の問題」などと嘯く味噌も同じ的な蛮声をはりあげている愚劣な情況の中で一人「別れてきたぼくたちの／ふたつの悲しみはふたつの／ひとつの希望に変わるかもしれない」と燐光のように青白く燃え傷ついた魂の咆哮から声をふりしぼり一編の詩に見事に「せつなさの美学」を構築して同時代の萌約感性へ手渡すなんざあ、どうしてどうして並みのネズミのできることではありません。

「名づける な私達に」

長田弘もまた純粋戦後派として天沢退二郎などと同じく「安保」をその詩体験の原点に据えている詩人であります。

昨年、僕はかって僕の幼なさが別れさせた、その秋に学歴もない

純粋戦後派詩人

今は読んだが最後三日間も下痢便に悩まされねばならぬ最劣の極みの詩雑誌「詩人会議」などというったチンケな代物を母の寂寞心にもみあわれずに出版している飯塚書店も、かつては「現代詩」誌を出版するだけの見識を持ち合わせていたということは、今にしてみればいささか滑稽味さえ帯びていますが、ところで、その転身はかって安保斗争の国民的高揚期をハガチー事件における右翼顔まけの反米愛国を標榜して民族主義へと右旋回し、6・15においてはまた金学連主流派をトロッキスト と規定して組織内事に逃げた羊頭狗肉を売る腐され左翼「日共」の出版事業部門を請負うべく、民青ごときジャリ左翼の頭数にまとわされ小商人的才覚によって企業的投身を図ったものと解すべきでしょうが、子供の好きな革命的気分で己が商品を拠べくとは日共企業体もなかなか味なことをするといわねばなりますまい。

ところで、文壇二軍の低能左翼文士集団「新日本文学会」の詩人部門機関誌として出発した「現代詩」は、転回ファシスト岡本某の手記が編まれたりするそれ故の限界効用を認めた上でつき合えは、そこは自我意識の特別に強い詩人達のこと、時代と詩精神に対して責任をとるラディカルな緊張に支えられた幾多の試行が存在しえたし、とりわけ中学から高校への青春前期の心情左翼の脳裏に圧倒的な影響を与えずにはおかない性質のものでした。

長田弘が「戦後の詩と行為」を――あのナイーブな感受性にみちた男が、あざやかに戦後詩の詩作

単独航海者の孤独

「演出ノート'67・6」より

きぬた・えいじ

衝動の深部にまで下降し常凡ならざる力量を発揮して裁断、「現代詩」に連載しはじめたのは一九六三年三月からのことだったと思います。

それまで愛着していたモダニズ

長田弘は ネズミか

一九六四年一〇月の「現代詩手帳」戦後詩持集号の中で長田は書いています。

「きみ、ぼくは絶望という名の電車に乗って、不可能という場所で降りてはじめて革命という領域につっこまざるをえなかった病める革命家ブランチ・デュボアであるだろうか――」と。

持ては裏切られる希望のもろさによってではなく、これ以上失墜することのない絶望の深さによって抗争に組みするとこまでもデスペレートな闘いを生きてゆくなら多分、それこそが永久革命論者の栄光と言えましょう。

一人の女の愛にみあうだけの報酬も持たず、非在と実在の影の地帯を幽鬼の知くさまよい、革命の時限装置を仕掛けて歩く、どこかはじめから勝れて破滅的な英雄とは、たとえば谷川雁、吉本隆明――もしくは「流れ者にゃ女は要らねえ」と強顔く流れてゆく死鳥の哲、乃至は加藤ワイダの手になる安藤昇？

藪の中の黒猫

新藤兼人監督

「鬼婆」との関連性

時間を超越して過去、未来へ自由に飛んでゆけるタイム・マシンなるものを考えるとき、そのマシンの内部を文学的に抽象化した空間を、竹藪のイメージに想定することはおもしろいのではなかろうか。竹藪は、深遠な、ずっしりと重量感に満ちた、陰惨な歴史を思わせる空間である。気やすく踏りかけがたい剛直な面持は、幾千幾百年もの風雪に、毅然抜かれ、生きぬいてきた威厳とでもいえようか。風にゆさぶられる竹藪は、抑圧され、苦しめられた農民の悲痛なウメキ声であり、サディスチックな告白の叫び声であるのだろう。そういった薄暗い空間に、ただ、目玉だけが、ギラギラと輝く黒猫のイメージは、竹が土中深く根を張るごとく、土着し、撤底的に戦う抵抗の度胆を抜く妖気にも似た執念を思わせる。

この映画は、彼の以前の作品である「鬼婆」に登場する中年の女と若い女の関連性を持たせるとおもしろい。「鬼婆」は、貴族にかわって武士が抬頭しつつある時期の、武士間の権力争いの中で、農民がいつにも変わらぬ受難を受け、ササの繁い茂る原野で、穴を掘って、サムライを落とし込むことにより、戦争に対するささやかな抵抗の意志を示しつつ、サムライの身につけてる、刀やヨロイや着物等を売って、細々と生計をたてて暮す姿を描いている。そういった状況の中に位置する中年の姑間に、戦争からもどってきた、たくましい男が介入してくることにより、若い女の抑圧されていた性が、激しく再燃し、男との歓びに転じる。自らの遠ざかった性に対するいたたまれぬ悔恨をも含めて、そんな若い女の自由奔走な律動するエネルギーに触発されて、嫉妬した中年女は、ついにサムライの鬼面をつけて、若い女をおどし、束縛しようと試みるのであるが、若いエネルギーの前に屈服せざるを得ず、自滅するといった話であった。

ここでの鬼面は、古いモラルの象徴として現出している。若い女によって示されている、人間の根源に依拠するところの性を自由に享受できる新しい動的なエネルギ――戦後世代の指標――というものを、古い、半ば静的なエネルギー（モラル）で押さえつけることはできないのは当然の事であり、更に、後退しつつあるエネルギーを支える意味において、鬼面をつける手段を用いることは、権力側の手段と同等の次元であり、ひいては抵抗者間の中における権力欲のきさしを暗示している。ここにおいて彼は、戦中、戦前派に対する批判を行っている様に思われる。

人間の冠を取ったら…

「藪の中の黒猫」においては、この中年の女と若い女の関係は、「鬼婆」以降変貌し、大きな発展を示しているように思われる。

サムライに強奪され、犯された、うえに、家に火を放たれて焼死した中年の姑と若い嫁は、化け猫となってサムライに復讐を行なうのである。若い黒猫は、その律動するエネルギーと、性的魅力をフルに回転させて、サムライを誘い、その生き血を吸って、カミ殺す役であり、中年の黒猫は、舞いを舞ったり、酒を用意したり、ワキ役を演ずるのである。肉体的、性的に旺盛な若い女と、精神的に練磨された中年の女が、有機的に結合して抵抗体を形成している訳である。そして、「鬼婆」で露呈した抵抗体の内部の権力欲のきさしを、いちおう排除した形となっている。ところが黒猫達にとって、子であり夫であるところの銀時が偶然にもころがり込んできた武勇を認められて、サムライになって都に帰ってくる。そして、武士の統領である源頼光から、夜な夜な羅城門に出没する妖怪退治を命ぜられて、黒猫達の眼前に姿を現わすことになると様子が変わってくる。黒猫からみて、銀時の存在がますます愛すべき子であり、夫であるが、他方、復讐すべきサムライであるという二面性を背負っているのであるが、若い黒猫は、すぐさま、苦もなく銀時を愛する夫として受け入れてしまうのである。ということは、抵抗者の意識は、愛の意識の中に解消してしまった訳である。結局、若い黒猫は、愛に殉じ、愛に没落してゆくのである。ここにおいて、彼は、新しいエネルギーの内部に内在する負の要因を指摘し、あわせて戦後派に対する批判としているのである。

新しい集団として期待していた存在が、体制のなくみな操作により体制内に組入まれ、規律化させられている状況を知りつつも、即物的に、自己の欲望に埋没してしまっていることを言っている。つまり体制内で、エネルギーが空転しているのみで、それを越えることができないはがゆさであろう。他方、中年の黒猫は、その二面性・矛盾というものに葛藤しつつも、階級性の認識の深まりにつれて苛眠して、なお、一層、すさまじい、グロテスクな様相を呈して抵抗してゆくのである。この中年の黒猫のごとくに、彼は、彼自身を、映像の中で傷つけているのであろう。更にそれによって、自らも含めた戦前派の責任を痛感していることだろう。「この状況を突破するには、体制に勝つには、もはやさがいにならざるを得ない」と極言した大島渚の言葉に、この化け猫も共通しているように思える。

彼自身が「人間だって、人間のカンムリをとれば生きものだ」そこに接近してみたい」と語っているように、この発想は、現時点において、大きな意味をもっているように感じる。

―平―

（四面からつづく）

の繁華街をながめては、凶兆の星よ、苦痛の星よと呼びかけ、血潮の高鳴る青春は二度と戻らぬと嘆いている。

一九二〇年パリへ移るが、二次大戦により三たびチューリヒへ戻って来た。一九四〇年のことである。そのころ、「フィネガンス・ウェイク」執筆を試みるが、戦争になるとこの苦心の作をだれも読んではくれまいと案じ、またその難解さの為に不評をかった。

一九四二年一月十日夜激しい発作に襲われ翌朝入院したが、胃の手術二日後死亡した。手術がすんだ後、ジョイスはノーラに手術代はだれが払うのかたずねたという。戦争中とはいえ、この大文豪の心中はあまりに悲惨であった。

さらに、埋葬されたフルンテルン墓地は動物園に近く、ノーラは、ジョイスを葬るとき、ライオンのほえる声がして、夫は喜ぶだろうといったそうである。

映画「ユリシーズ」は有国フィルランドで上映禁止となった。

一九五二年「ユリシーズ」が風紀上有害のかどで告訴、有罪の判決をうけて以来、まだまだ問題を呼びそうである。

書籍・文房具
日用品・喫茶
立教学院事業部

フランス基本語辞典
ソルボンヌ大学教授 ジョルジュ・マトレ著　野村二郎・滑川明彦訳編
フランスで外国人向けに作られた基本語辞典の日本語版。必要にして十分な基本語五〇〇〇を収め、語義を正確に捉え、他の辞典に見られない豊富で適切な文例を添えるなど、日本の初級・中級の学習者が使いやすいよう綿密な配慮を施した理想的辞典。中辞典と併用すれば完璧です。
B小型 四八〇頁・頒入 定価 六八〇円
●この辞典を薦める　朝倉季雄教授絶賛！
基本語の征服が外国語の上達に決定的な役割を果たすことはもちろん論をまつまい。この辞典はソルボンヌ大学の五教授が各々にわたる外国人学生の指導経験にもとづいて五〇〇〇の基本語を選定したもので、語義の一つ一つに添えられた適切な文例はことにこの辞典を貴重なものにしている。フランス語学習者は語義と同時に文例をも記憶するように心がければ意味の微妙な陰翳が正確に把握できるであろう。（東京大学教授）

新仏和中辞典
井上源次郎・田島　清編　B小型二三六頁　ビニカフ装¥一二〇〇　紙皮装¥一六〇〇
見出し語七八、三〇〇語、中型辞典として最大の語数を収録している。フランス国語辞典の新版や新辞典を参照して内容を整備した。語義はまず本義を示し、次に派生的語義を示し、訳語は的確簡明にできるだけ多くしるした。また、用語を熟語に集め重要語には文法的説明も加えてある。新しい時代に即応する学生の必携辞典！

新和仏中辞典
三宅　治他七氏編　B小型九九八頁　ビニカフ装¥一四〇〇　紙皮装¥一八〇〇
見出語数一〇〇、〇〇〇余を誇るわが国はじめての本格的、実用的和仏辞典。ニュアンスの複雑な語義を分類、整理し、生きたフランス語の表現に努めた。さらに実用性を考慮して時代に即応した外来語・新語・専門術語なども多数とり入れ、用例は可能な限り明示した。付録・フランス主要地名表、基礎文例、手紙文例、他

独和言林
佐藤通次著　四六判一五七〇頁　バクラム装¥二五〇〇　紙皮装¥三〇〇〇
ドイツの最新版の各種辞典を参考に、実用辞典としての条件を完備した独和の決定版！収録語数一〇五、五〇〇語、重要語の主要訳語は太文字で示し、図版二七六を活用、語原を解りやすく解説し、語の本来の意味の移り変りを説明して、語を機能的に理解させる。前級の意味を分析説明し、前級をもつ動詞についても明快に解説した。

新仏和小辞典
杉捷夫編　革　六〇〇　八〇〇

標音仏和辞典 付和仏
山本直文編　五〇〇

標音独和辞典 付和独
佐藤・森永編　五〇〇

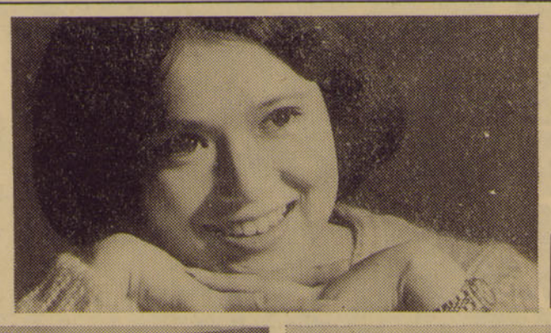
和独辞典
奥津彦重編　革一八〇〇　一二〇〇

西和辞典
高橋正武編　B小型　一〇二四頁　¥一四〇〇　皮装¥一八〇〇
見出語数六万八千、中・南米系のスペイン語を豊富に収めた実用辞典。新語・述語・略語など可能な限り収めている

新伊和辞典
野上素一編　B小型　九九七頁　¥一八五〇　皮装¥三〇〇〇
見出語四万八千、新語、古語、各専門用語、さらに俗語に関する重要語を収録。訳語、発音、文法は明快に説明。

標準フランス語動詞変化表　田島清著　二八〇円
朝倉フランス基本単語集　朝倉季雄　二八〇円
朝倉初級フランス語　朝倉季雄著　四五〇円
フランス語の入門　数江譲治著　四五〇円
例文活用ドイツ語基本単語集　阿部貢隆著　四八〇円
例文活用ドイツ重要単語四〇〇〇　羽鳥重雄・平塚久裕編　五五〇円

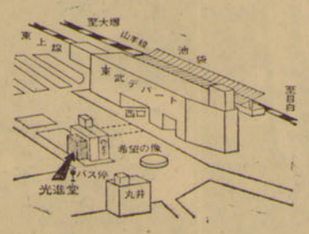
白水社
東京神田小川町3の24　振替口座東京 33228番


★TBS不動産株式会社は我国最大の民間放送局東京放送（TBS）グループの一員です。

ずうーと私の部屋にしておきたい
閑静な、通学に便利な神宮前。おしゃれな家具つきのお部屋。青春があふれるリビングルーム。しとやかな和室不自由さなど、まったくありません。生活管理・健康管理も、心にくいほど。若い女性の豊かな教養をはぐくむ理想的な女子学生会館です。
〈室料〉　1人当り　個室9.5m²　2人室15.0m²

	保証金（退館時に返済）	入館費 2年～4年	室料（月額）	維持費（月額）
2人室	35万円	6～10万円	1万2000円	3000円
個室	50万円	6～10万円	1万6000円	3000円

神宮前〈原宿から3分〉
東郷女子学生会館
お問い合せ・カタログのご請求は―東京都渋谷区神宮前1－5－3／TEL（402）6611（代）／東郷女子学生会館事務局 RR係

なんでもすぐ揃う
カメラのデパート
光進堂

東京都豊島区西池袋1～19～2
TEL（984）5641～2
（971）4480

お部屋のコンサルタント
自炊、外食、賄付
学生協会
立教大学前（白雲閣隣り）
TEL（九八二）一六三・五五四七

コスギはすばらしい財産を持っています。なにものにもかえがたい貴重な財産です。それは当社の人間〈コスギマン〉です。コスギは歴史こそ古いのですが、奇妙に若さを感じさせる会社です。コスギの貴重な財産である社員一人一人は、生気にあふれ、いつでも〈ヤル気十分〉です。コスギでは〈同じことを繰りかえす〉ことがたいへん嫌われます。企業発展のために少しも役立たないからです。ですから、常に新しい仕事を、新しいアイデアを、新しいなにかを、コスギマンはさがしもとめています。そして、目標を発見したら、とどまるところを知らない若さでぶつかっていきます。こうして、昭和37年ニット製品に対する消費者の要望にお答えすべく、アメリカのニットのトップメーカー　ジャンセンと提携、業界の海外技術導入の第一号となりました。

"無着陸"
とどまる所を知らない若さをもっています
小杉産業株式会社
創業明治16年／資本金3億円／年商105億円／従業員数1,050名／支店・出張所 大阪、小樽、札幌、仙台、名古屋、福岡／海外事務所 ニューヨーク

ジェイムズ・ジョイスの世界

虚構と現実の同時性

ジェイムズ・ジョイス――もはや彼は異端者ではない。かつてその作法は「神の否定」「人間性の破壊」を持つものとして厳しい抑圧を受けた。その抑圧をはねのけたものは何か。それは、ジョイスの体制と因習への頑くなな挑戦であり、一切が言無かという激しい文学へのそして生への執念であった。そうした、ジョイスの世界はなにをも受けつけない孤独なエゴイスティックな世界であるが、その独特な手法で人間性を切りさいていく作品世界、つまり回想と独白や、さらに時限をこえた作品転開は、我々を引きつけずにはおれない。そこには現代における疎外状況、人間性の露骨なまでの描写がみられるからである。実験小説とまでいわれたジョイスの作品の数々は、常に大きな波紋をなげかけてきた。彼の小説作法はもはや一つの典型となったがそれを生みだすまでに、いやそれを成長させ確立するまでに多くの辛酸をジョイスはかみしめねばならなかった。そうしたジョイスの生涯ことに亡命という人生の主要な部分を凝視し、エピソードを織りませながら「ジェイムズ・ジョイスの世界」の模索を試みた。

「亡命者」の精神形成

一八八二年、ジェイムズ・オーガスタ・アロイジュウス・ジョイスは、十五人兄弟の長子として、ダブリンに生まれた。そのうち、十人だけが育った。この家族構成において、特筆せねばならぬものに兄弟の中でただ一人ジョイスと精神的交流を保った二歳下の弟スタニスラスと、自らの無能力をよそに、環境の犠牲者としてやけ酒に身をこがし続けた父親、ジョンジョイスがある。

前者は、終始、ジョイスの放逸な生活を見守り、物質的精神的援助を送り続け、のち兄を追うといったかたちでともに亡命生活を送った。しかし、そういったスタニスラスの心使いもジョイスは何らの意に介せず、やがて兄弟の疎遠が始まるのであるがスタニスラスは一九五五年六月一六日（この日付は、『ユリシーズ』の中の「ブルームの日」である）に、トリエステで死んだが、その間兄ジョイスの数々のエピソードを『わが兄の附添人』や『回想』などに著わしている。

父ジョン・ジョイスの直接の影響というものではないが、幼少年時代のジョイスに与えたものに父の親しい知人でありジョイス家によく出入りしていたジョン・ケリイという農民出の革命家の感化と共に、パーネルの死というアイルランド革命史において、悲劇的象徴としての一個人の死があった。パーネルについて簡単に述べるとアイルランド革命史における画期的な思想形態を確立した革命家として位置づけられるが、その革命思想は、カトリック信仰の宗教意識は捨て去られ小借地農民を中心とする農民闘争と民族感情（対英植民地主義）を結合させた点にパーネル以前の革命思想にみられないものがあった。そして、ジョイスの父も、かって、パーネルの支持者であり、政治運動屋であったという環境から、はやくしてジョイスの政治的関心が開かれたのであるが、ジョイス九才の時、つまり一八九一年パーネルの死を政治的でなく文学的に死の思想的意味をつかんでいる。それは、恐らくジョイス最初の韻文「ヒーリー汝もまた！」というパーネルへの挽歌である。しかし、九才のジョイスが、パーネルというイメージをどの程度つかんだかは疑わしい。ただ、パーネルの革命思想における、カトリック宗教意識を切り捨てたという点において、ジョイス六才時に入学したジェズイット教の学校時代における、彼の交友関係やカトリック教と彼の内部世界の相対的矛盾や違和感を解消してくれたものとしてのパーネルの存在を意識として獲得したものであろう。

弟スタニスラスとの訣別は、ジョイスの幼少年期を形づくった、カトリック教の因習とアルコール中毒の父親、多兄弟という環境に多く因るものであり、それは弟スタニスラスの回想によれば、「すくなくとも我われ一家の生活程度は、土方や農耕務働者とおなじであった。」といわしめるほど、悲惨なものであった。ジョイスの対人関係を如実に物語るものに「若き日の芸術家の肖像」のスティーヴン・ディーダラスが、「沈黙と亡命の狡智」を唯一の武器としておのれを生かしめると宣言する個所に、あらわれている。そして、その背後には、ジョイスが、対人関係でつかまされた孤独の自覚があったのであろう。さらにその対人関係におけるジョイスの態度の特徴は、際限知らぬ信条の強要であり相手が応じるまで追いつめるといったジョイスの内面的観念に異常なまで固執する姿であった。そして、その相手がジョイスの態度を受けつけなくなると、どんな親友もジョイスから離れ、それを友の背信、裏切と感じ、ますますその感情がジョイスを孤独へとおしやるのであった。

そうした自己固執性が、ある対象の存在に対して、一切が言無かというジョイスの精神世界を、彼の作品世界へと拡大深延する過程において、ジョイスの現実認識のあり方というものを形成していったのである。それは、「ダブリン市民」という特異なリアリズムによる実験的作風を生みだしたのであった。

さらに、カトリック教拒絶を象徴的にあらわしている一つのエピソードとして母親の臨終の際、母の懇願にもかかわらず、祈りを拒否したジョイスの姿がみられるが、これは単に宗教を否定しただけのものではないことは明らかであろう。そして、祈りを拒否したジョイスの内面的姿が、「ユリシーズ」などの登場人物にジョイスの化身となって、あらわれてくるのである。

こうして、カトリック背教者として、みずからを固着しながら、アイルランドの土着宗教性という消極的カトリック的良心から、抜け出ぬまゝジョイスは、異端の青春を過ごしていった。こうした相反するジレンマからジョイスは、自由に生きれる世界を求めて、亡命を試みるのだが、ジョイス内部に秘むこのジレンマをヨーロッパの果ての一島そして一都市の現実の投影として、外部へ転化しみずからを「憤怒に満ちた亡命者」として、運命づけてゆくのであった。

孤独なエゴイズム

アイルランド脱出を語る前に、もう一人のジョイスの世界の住人を紹介せねばなるまい。

一九〇四年六月一〇日、ダブリン市のナッソー街で若い女と出会った。名はノーラ・バナクルといい、当時未開地であった西部ゴールウェイのパン屋の娘であった。そして、六月一二日、二人は最初の逢いびきをしたが、その時の精神状態については、『ユリシーズ』のブルームの回想が示している。単なる逢いびきの描写とも読めるこの挿話の中に、ジョイスの決定的行為がみられ、ジョイスはのちに、この日を思いだすと、ノーラに「おまえはおれを男にしたのだ」といったという。

当時のアイルランド人の性意識について、スタニスラスの回想の言葉を借りれば、「熱烈な恋愛のドラマはアイルランド人の間ではまれであり……恋愛は、アイルランドでは、結婚前には女節的抑制に従わなければ冷めたい仕打ちをうける……」六月一六日のできごとは、母の臨終の際、祈りを拒否したことと、ジョイスにとって、ともにアイルランドの因習的道徳への反逆の表現であった。そして、それらの行為は、ジョイスのアイルランドでの生存の可能性をせばめてゆくものであった。

ジョイスとノーラとの関係をみると、平凡で無教育で無知なアイルランド娘でしかなかったノーラと、アイルランドとのすべてを否定しつづけたジョイスがなぜに結びついたか疑問であるが、ジョイスの否定方法は行為のうえであって、精神はアイルランドへとつねに傾いていた。そこへ、アイルランドの土の匂いをもった女、ノーラの登場、そしてともに亡命する過程は、ジョイスの孤独なエゴイズムをみるほかにない。

「男になった」ジョイスは、六月一六日を「聖礼式」とし、「悲哀というものは、あの聖礼式を妥協としてえらんだとそつもない憂鬱なやさしさを、ぼくはきみの中にみたからだ」とノーラあての手紙で述懐し、ノーラの魂に格別な魅力を感じとっている。

一〇月八日、ノーラとは別々にアイルランドを脱出した。その旅費も、友人から工面してもらうという有様であった。

永遠の亡命者

ポーラ、トリエステ、チューリヒそして晩年のパリというヨーロッパ放浪の亡命生活が始まったがジョイスの永遠の安住地となったチューリヒの亡命生活を特にあげたいのは、そこが、ジョイスの生涯を象徴的に物語っているからである。

一九四一年一月一六日、チューリヒにあるフルンテルン墓地に埋葬されたが、そこは、すぐうしろに深い森が続き、チューリヒ湖を流れ出る川がはるかに見おろせる場所であるという。

ジョイスが、はじめてここへ来たのは一九〇四年でノーラとともにやって来た。何ら希望もあったわけではない。この逃避行は一週間で終り、イタリアへわたって十数年の苦しい生活が続いた。

二度目は、一九一五年である。「若き日の芸術家の肖像」を書き終え、「ユリシーズ」創作中のジョイスはトリエステの町を去らざるを得なくなり、再びチューリヒに来たのであった。

このチューリヒで五回程移転をしている。このことは何を物語るのだろうか。そして、遅まきながら文名は高まって来たが『ユリシーズ』を完成する苦悩と大敵の困苦、ようやく亡命の疲労がではじめ、さらに孤独に生きるジョイスの心をあらわすものに、次のような内容の詩がある。

湖のほとりにつながる街灯が、クリスマスの飾りに使う金の鎖のようにきらめき、静かに月が湖水を照らす…とうたい、また、駅前

（三面につづく）

生すなわち芸術

ジョイスの亡命の動機は何であったろうか。一九一四年に、「エゴイスト」誌に連載発表した作品「若き芸術家の肖像」の主人公、スティーヴン・ディーダラスの言葉をかりれば、「もはや信じない教会であれ、祖国であれ、したがわない。そして、あたうかぎり自由に完全に、何らかの生（つまり芸術の様式（some mode of life or a-re）で、じぶんを表現するものだ。じぶんに許された唯一の武器―沈黙と亡命と狡智を、自衛のために用いようとおもう。」この言葉をジョイス亡命の状態の表現とみることに、疑いはなかろう。この時期つまり一九一四年において、ジョイスは、トリエステに住み、祖国を去って十年の歳月が流れている。この十年の歳月は、ジョイスの人生において、重大な転換期を意味し、家庭・祖国・教会というものからの訣別を可能にしたのであった。

一九〇五年にジョイスが弟スタニスラスに宛てた手紙にこう書いている。「じぶんは、この状態を亡命と解釈する。……じぶんは現在のじぶんの状態を自発的亡命として受け入れるようになった。そうではないか。これは、二つの理由でじぶんには重要なのだ。一つは、この自発的亡命から、ゆたかなじぶんの未来を生み……二つはそれがじぶんの小説（「芸術家の肖像」の草稿「スティーヴン・ヒロー」）の結末に特徴をあたえてくれるからだ。」これは、亡命後一年たったジョイスの「自発的亡命者」としての自覚した姿であろう。さらに、亡命後、一年目にして亡命という自覚を抱いたことは外部環境から祖国脱出を余儀なくされたのではなく、なんらはっきりとした亡命意識をもたずに、自発的に祖国を去ったということであろう。

次に、伝記作家エルマンのジョイスの行為の解釈をみれば、「ジョイスの演技、ないし虚構の現実にもたらす逆作用の結果」という考え方をしている。さらに、エルマンはジョイスの孤独観というものを、友人家族というものを包みながらもジョイスを中心とした動きし、しかも常に一方通行な状態のことと解釈した。ジョイスの孤独な心理状態の一つの真実としてエルマンの解釈は正しいだろう。

先に、ジョイスの現実認識のあり方について述べたが、ジョイスが現実世界において自演者としてのみずからを生かしつづけたというより、行為と文章によって公然と現実にたたかいを挑んだジョイスの人生が安定し、芸術が大成したのではなく、常に生と芸術の存在の危機を感じながら、亡命という放浪の生活が続くのである。

ジョイスの作品世界において、その登場人物はあまりにもリアルであった。そこには虚構と現実の同時性がみられるのではなかろうか。すなわち、現実の世界の中に虚構をたたきつけることによってあるいは、その逆でもあったろうが、ジョイスが現実から離反、孤立し、対人関係を悪化させていった。そのことによって、ジョイスのエゴイズムが生れ、亡命によってさらに成長し、究極には、亡命＝人生ということになった。このことは「若き芸術家の肖像」の言葉からも察知できる。

しかし、亡命によってジョイスの人生が安定し、芸術が大成したのではなく、常に生と芸術の存在の危機を感じながら、亡命という放浪の生活が続くのである。

赤外線

サイケデリック

サイケデリック（Psychedelic）―略してサイケと云うこの言葉は最近テレビやラジオを通じて、よく耳にする言葉である。この言葉が我々に想定させるイメージはアメリカ的な、赤や黄の、まるで虹のような原色の氾濫、強い光のコントラストと云ったような、又、無気味な不協和音や連続しているようでいて連続していない不連続面の連続、性的な獣のイメージである。（この支離滅裂な描写は筆者が現在、サイケデリックな状態に陥っているからだろうと勘る向きもあろうが、あえて反論はしない）

一般にアメリカのヒッピー愛用のLSDという薬のもたらす幻覚的な陶酔状態を指して、そう呼ぶそうだが面白いことに日本に於てはLSDそのものは入ってきておらずその幻覚を具体化したもの、つまり音楽、ダンス、絵画、シネマ等のサイケートだけが輸入されてきていることができないだろうか。つまり前にも述べた通りサイケデリックとはLSDと云う薬を飲むことによって創り出される幻覚の世界であって、いわゆる平衡感覚を失した常人でない状態の人間によって、はじめて創り出される世界なのだ。そこではLSDは快して抜きにしては考えれ得ないセンスがある。ところが日本に於ては、そのLSDを全く抜きにした時点で常人が作り上げた幻覚の世界―幻覚芸術―を常人が見たり、聞いたりすることによってサイケデリックと云われる状態に堕落してしまっている。この点、因果関係が生産より消費することが美徳とされ、個々の人間の存在価値は全く顧られることのない資本主義社会のゆきづまり…幻覚芸術はこう云った矛盾だらけの社会からの逃避を可能にしてくれる。それがたとえ一時的な状態であるにせよ、現実の窒息しそうなわずらわしさから遠ざけ幻覚の世界をさまよう快感…それこそサイケアートの魅力となっている。しかし、只それだけのことだ。社会でもてはやされているのは、目新しいものには何でも一度は飛びついて見る商業資本の売らんかな精神による意識的な意図であって決してそれが社会を変革する力を意味するものでもない。それどころかこの（芸術）はやはり社会に背を向けたスネ者の芸術にすぎないし、それが結こう商業ブームに乗って話題となっている現状は、やはり世紀末的な、世はまさに昭和元禄だと云う頽廃感を想起させるのである。―加―

サイケデリック

確かに、単に一部の特殊な人間の間のものにすぎないと思われていたサイケアートがデパートの洋品売場に進出しテレビのCMにまで登場してきていると云った現実を踏まえた上で、現代社会の状況と対置させて考えてみるならばそれも真なりである。しかし果たして社会を変革するだけの力があるだろうか。生産より消費することが美徳と

立大生の店
キチッン　オアシス
白雲閣となり

制帽、優勝カップ、ペナント、バッジ
野口帽子店
電話（982）0403

楽しい御食事は
レストラン　あざみ
泰共フラットビル1階

御入学おめでとうございます
毎日のお食事と各種集会・歓迎会コンパは、是非第一食堂を
御利用下さい
立教大学第一食堂
TEL 983－2256

あんみつ、おしるこ
御菓子司　甘味喫茶　利休

四川料理
アングラのメッカ
一番
立教大学角　TEL971－2623

近視・乱視の進行をとめる!!
痛くない!!
◀最高の精度・永年の信用と安全性を誇る▶
メガネよりすぐれている点
⊙強い近視や乱視などメガネで視力のでにくい眼に矯正効果がある。
⊙視野が広く、自然の大きさで物が見えるのでスポーツに最適。
⊙レンズをはめていることが分らず湯気や雨風にもくもらない。
⊙割れて目を傷付けることがない。
⊙近視の度が進まない。
学割実施
平日　10A.M～8PM.
日祭　10A.M～5PM.
池袋東口
東京コンタクトレンズ診療所
◇池袋東口971－8188　◇高田馬場南口369－4646　◇青山409－0005
池袋東口・丸物ヨコ・映画館並び
信号カド薬局3階
TEL.971－8188

本年度アカデミー賞4部門受賞最有力候補
最優秀監督賞・脚色賞・黒白撮影賞・作曲賞
ロバート・ブレイク
スコット・ウィルソン
ジョン・フォーサイス
主演
クィンシー・ジョーンズ音楽
事実のみの激しい戦慄！地獄の通り魔！血しぶく深夜の一家惨殺！
なまなましい迫力と興奮の2時間30分！
『プロフェッショナル』のリチャード・ブルックス監督
■本年度N.Y.ナショナル・ボード・オブ・モーション・ピクチャース最優秀監督賞受賞
コロムビア映画
近日ロードショウ
トルーマン・カポーティ原作
冷血（パナビジョン）
IN COLD BLOOD
原作■新潮社刊

君達が主役だ
〈若い銀行〉サイギンは、新しい銀行のイメージを創るパイオニアであり、主役になる君達の若さと頭脳に、その未来のすべてを託しています。
埼玉銀行
概要
創立　昭和18年7月　資本金 108億円
店舗数　125店（東京都41・埼玉県75・大阪・名古屋・札幌　他9）
従業員数　7,100名
連絡先
本店人事課　浦和市高砂2-9-15　TEL0488(29)2111
人事課東京分室　中央区京橋1－4　TEL(211)1211
就職のご相談に応じますので、ご希望の方は人事課（本店人事課又は人事課東京分室）へおいで下さい。